

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
36	山野美容芸術短期大学	伝承美（華道）	松崎 美瞳 非常勤講師	1	後期	火	15	13:00～14:30	山野美容芸術短期大学	若干名

【到達目標】

一般教養としての日本の花道史、生活芸術としての華道を学ぶことにより、華道に息づく精神美と実際に自ら実技を行うことにより習得する技術が美意識を高める。それと共に自然との共生を大切にする華道精神を理解することで、人間関係を改めて見つめ直しコミュニケーション能力やホスピタリー精神の必要性を実感し行動できる。更には習得した知識や美意識をコミュニケーション能力とホスピタリー精神を活かし、社会生活において伝え理解してもらうことで、多様な人々の社会的・文化的背景を理解し尊重することができる。また、花芸作品の作成や花の管理などは、培った知識と技術により、今後の生活の中で具体的に役立たせることができる。

【授業の概要】

日本の伝統文化は、自然中心的であり、モラルとしてのその芸術意識は、世界に類例のない芸道精神を土台としています。人間と自然に於ける正しい共存の在り方を日本の伝統美〔華道〕という造形芸術を通し理解します。構成図や構成表を用いて論理的に展開していく授業の中で、理論に基づいた実技を学ぶことにより、日本独自の造形美や華道の中に息づく精神美を習得します。

【授業内容】

1. オリエンテーション・花寄せ
2. 花芸作品を制作するにあたってのプロセスの大切さを学ぶ
3. 季節の行事に合わせその歴史的背景や文化を学ぶ
4. 花芸作品を演習するために必須な構成図について学ぶ
5. 素材（花材）の自然な姿を尊重した作品を生けることを学ぶ
6. 花芸作品の美的なバランス感覚を学ぶ
7. 花芸安達流の構成三原則である<五態>について学ぶ
8. 花芸安達流の構成三原則である<文法>について学ぶ ～part1～
9. 花道史、並びに花鋏について学ぶ
10. 植物の生態について学ぶ
11. 花芸安達流の構成三原則である<文法>について学ぶ ～part2～
12. 素材（花材）と花器のバランスを学ぶ
13. 花芸安達流の構成三原則である<原型>について学ぶ
14. グループに分かれ<連花>を演習する
15. 授業の総復習と花束制作

【成績評価方法】

平常点（毎回の課題点、授業態度）50％ 試験 50％ の総合評価。

【教科書】

書籍名：花芸安達流 演習ノート「水」 著者：安達瞳子 発行：株式会社花芸

【参考書、教材等】

花芸安達流著書全書

※ この授業は、10/3（火）が初回です。